

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道378号 三秋拡幅		事業区分	国道	事業主体	愛媛県
起終点	自：愛媛県伊予市三秋 至：愛媛県双海町高野川		延長	3.7km		
事業概要	一般国道378号は、愛媛県伊予市を起点とし、双海町、大洲市、保内町、八幡浜市、西予市を経て吉田町に至る総延長約124kmの幹線道路である。三秋拡幅は、現道の幅員狭小・線形不良区間の解消を図り、慢性的な交通混雑の緩和と安全で快適な走行性の向上を目的とした2車線道路である。					
H7年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H7年度用地着手	H7年度工事着手			
全体事業費	46億円	事業進捗率	54.6%	供用済延長	0.3km	
計画交通量	15,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.8 (残事業) 6.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 22/49 億円 (事業費：19/46億円 維持管理費：3/3億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 131/140億円 (走行時間短縮便益：123/132億円 走行費用減少便益：7/7億円 交通事故減少便益：1/1億円)	基準年 平成16年		
感度分析の結果	実施なし					
事業の効果等	生活機会・交流機会の増大・・・沿線市町村間におけるアクセスが向上し、地域間の連携強化が図れる 生産性の向上・・・時間的コストの低減により、沿線地では生産規模を高め生産性の向上をもたらす 安心できる交通路の確保・・・交通事故危険性が低減し、通行の安全性と快適性が確保される					
関係する地方公共団体等の意見	国道378号線整備促進期成同盟会による事業促進の強い要望ほか、地元も事業実施に協力的である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	当初において難航していた用地買収も鋭意交渉の結果、買収が進んでおりその区間の工事も少しずつ進捗している。引き続き用地交渉を続け早期の工事着手を目指す予定である。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現道拡幅部については平成16年末で900mの部分供用となるが、バイパス部における工事が用地買収の遅延により遅れている。今後はバイパス部分について工事を促進し平成20年度の全線供用を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	8割を超える用地を取得しているが、バイパス部において部分的に用地交渉が難航している箇所があるためまとまった工事に着手出来ない状況にある。事業認定の手続きを進めており平成17年度には用地買収を完了させる予定である。					
施設の構造や工法の変更等	出来るだけ現道部の有効利用を図ることにより、全体事業費の低減に努めている					
対応方針	継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。